

令和5年度（2023年度）英語授業づくりプロジェクト～中学校～
授業づくり省察シート

授業づくり省察の視点

（できているところに○をつけましょう↓）

ア 指導と評価の一体化を図る授業のために（CAN-DOリストの作成及び活用）		チェック
①	学年の学習到達目標を踏まえて、年間指導計画を設定し、単元の目標及び評価規準を適切に設定しているか	
②	単元を通した学習課題を達成した子供の姿を生徒と共有し、単元を通して生徒が見通しをもって学習に取り組むことができるよう手立てを図っているか	
③	単元の目標を達成した生徒の姿を具体的にイメージ（見える化）し、生徒ができるようになった適切な時期に、適切な方法で記録に残す評価を計画し、実施しているか	
④	学年の学習到達目標を達成できたか適切に見取るため、各単元とは別に、内容のまとめごとに、適切な時期にパフォーマンステストを実施しているか	
イ 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせる言語活動のために ※中学校外国語科における言語活動：「実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合う活動」		チェック
①	言語活動には、目的や場面・状況などを明確にした次の3つの要素が満たされているか 1) 「伝え合う必然性があるか」 2) 「相手意識をもって取り組むことができるか」 3) 「授業を実際のコミュニケーションの場面に近づけているか」	
②	指導は言語活動に取り組ませながら、内容面（目的や場面、状況に応じた内容になっているか。）、言語面（正確な語順・文法等を使用しているか。）の2点から適宜行っているか	
③	一人一人が「何ができるようになったのか」を明らかにし、自らの学びを振り返る時間を確保し、家庭学習及び次時への見通しを持たせ、見取りまで行っているか。	
④	基礎的・基本的事項の確実な定着を図る手立てを行い見届けまで確実にしているか 1) 単語や基本文の定着状況を把握し、見取りまで行っているか 2) 個に応じた手立てを行っているか 3) 定期テストでは国や県の評価問題等を参考にし、文脈を伴った「知識・技能」の問題や初見の英文を用いた「思考・判断・表現」の評価問題を取り入れているか	
ウ R5英語授業づくりプロジェクトの目標		チェック
①	英語が「好き」「わかる」「できた」と生徒が実感できるための授業づくりを意識しているか	

【メモ】